

下関小ねぎ現地検討会で好評価

下関農協ねぎ生産出荷協議会が現地検討会と総会を開催しました。

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 6 月 24 日 | 下関農林事務所農業部

下関市安岡地区は、県内の小ねぎ主産地で、古くから栽培が盛んに行われています。山口県と下関農業協同組合が平成 21 年から共同で育種開発した夏用ねぎ「YSG1号」が現在、収穫時期を迎えています。

平成 28 年 6 月 21 日(火)に、生産者や市場・販売関係者、JA 下関、下関農林事務所農業部など約 30 名が出席し、下関農協ねぎ生産出荷協議会の現地検討会及び総会が開催されました。

現地検討会では、「YSG1号」の生育状況を確認しながら、意見交換が行われました。生産現場を見た市場・販売関係者からは「下関ねぎは葉先枯れがなく、緑色が濃く、すばらしい。」と大変好評でした。

また、各市場からは、更なる取引拡大を希望されるなど、産地への期待と激励の言葉をいただき、生産者一同、頑張っていきたいとより意欲が高まりました。

同協議会では、今年度も活発な市場訪問や販売促進活動を実施するとともに、毎月の現地検討会を行うなど、より一層、産地拡大や品質向上につなげる取り組みを進めています。

(下関農林事務所農業部 杉山久枝)



小ねぎの生育状態を確認しながら意見交換する様子



総会の様子

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206